



ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2026
プロデューサー兼
クリエイティブディレクター
やまだ あきひろ
山田 明宏さん

昭和49年旭川市生まれ。平成12年、資生堂入社。平成22年より上海へ駐在し、中国でのクリエイティブ責任者を務める。令和2年に帰国し、引き続き資生堂に所属しながら令和6年旭川市にてRISE DESIGNを設立。CEO兼クリエイティブディレクターとしてさまざまなプロジェクトを進める。2024年度からADWクリエイティブディレクターに就任



ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2026

[と き] **6/18(木)~21(日)**

「なんかいい」を、わたしの暮らしへ。

ADWが大切にしているのは、後からふと思い出すような、心地よい時間の中にある「気付き」です。特別じゃない毎日に少しだけ意識を向けること。その積み重ねが、自分らしい暮らしをつくっていきます。ADWは、暮らしにすてきな気付きが芽吹ききっかけを届ける、特別な数日間です。

イベントの詳細は、ADWで随時更新します



[主 催] あさひかわデザインウィーク
実行委員会 ☎050・1793・8949



ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2026
実行委員会実行委員長
もり しゅんいち
森 俊一さん

昭和42年旭川市生まれ。札幌の専門学校卒業後、商業施設や空間づくりに関わる企業に勤務し、その後デザイン事務所を設立。現在は日新運輸の代表取締役社長を務め、北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部では支部長を歴任し、地域企業間の連携強化や人材育成に取り組む。昨年度から、ADW実行委員長に就任

就任3年目にかける思いは

ADWを創設した旭川の家具業界をリスペクトしながら、変わりゆく旭川の中で生活者が幸せを感じるのとは何か？というのを多角的に探った結果、「食卓」をテーマにしたのが1年目。それに磨きをかけてデザイン性を高めたのが2年目の年でした。テーマの「Life with.」(生活と共に)の通り、デザインが生活者に対してどんなアプローチができるかを深掘りして、さまざまなトライをしていきます。僕が好きな言葉である「伝統とは革新を続けること」という意識と情熱で、新しいアイデアにトライしながらさらに良いものにしたいと思っています。

新しい「ADW」のロゴとキービジュアル、今年のキーワード「なんかいい」をわたしの暮らしへ。について教えてください

昨年リニューアルしたロゴをさらに進化させました。

新ロゴで象徴的に使った「D」は、フェニキア文字の「Daleth」で、意味は「扉、ドア」です。そこから「D」が扉を成していくように視覚的に表現しました。

昨年は来場者の「なんかよかったよ」という声が増えたことに手応えを感じました。その要因にはあえてデザインを前面にうたわず、説明しすぎない

「体験の強さ」があったと思うんです。でも次に続かないものは「Life with.」にはなりません。

今年は来場者が「なんかいい」と感じた後に残るもの、それを作るのが課題です。

読者に向けてメッセージをお願いします

デザインは特別なものではなく、気付いたらそこにあるものというのが、ADWにおけるデザインの定義です。

ADWは、もともと旭川にある良さに気付ききっかけとなるイベントです。いつもと違う旭川の雰囲気を感じ、その理由を見つけにきてほしいと思います。

昨年の振り返りと、今年にかける思いや企画を教えてください

初めて実行委員長に就任した昨年は、2015年に始まり先輩方が作り上げてきてくれたADWを、伝統を壊さず未来につながるものにしなければいけないというプレッシャーがありました。デザインの理解のハードルを下げ、身近に感じてもらうのがテーマでしたが、「THE TALK」などの交流イベントでは若者の参加も多く、成功したと思います。今年はそれらを継承しつつ新しいことにチャレンジする、変革の年にしたいです。

その1つとして体験型新イベント「hiroba」を開催します。子供たち

が未来を描くきっかけを作る企画で、通常はできない市の新庁舎に自由に絵を描く「キッズアート」や、各産業の協力で行う職業体験があります。継続イベントの「THE TALK」も場所と時間を拡大、アッシュアトリウムにステージを常設して「あそこに行けば何か面白いことが聞ける」という発信の場にしています。

市民のコミュニケーションの場としてのADWとは

「あさいち」で同じテーブルに座った方同士が、食を通して話題が広がったという話も聞きます。ADWは全体的に参加者や出演者同士のコミュニケーションがしやすく、共感しやすい

雰囲気があるようですね。それも押し付けではない気付きの体験になればいいなと思っています。

読者に向けてメッセージをお願いします

デザインは自分に関係ないと思われがちですが、その中に飛び込んでみると、モノやコトの意外なつながりが見えてきます。そこに気付いた瞬間、普段の生活がちょっと豊かになる。そんな幸せの仕組みを考えています。ぜひ足を運んでいただきたいです。

誌面未収録!?

熱量そのままに、お2人の「こぼれ話」はこちらの動画で▶



ひろば

さまざまなヒト・コト・モノがデザインを通して集う「hiroba」。見て、触れて、話して。一歩踏み込む体験が、皆さんの創造力をブーストします。「もっと知りたい」が生まれるこのhirobaでの出会いが、日常に小さな種をまき、あなたの明日をちょっと変えるかもしれません。イベントの詳細は、ADWで確認ください

と き 6/20(土)・21日
ところ 旭川駅前北広場 ほか



あさいち

あさひかわの食や暮らしの豊かさに触れられる朝のイベント「あさいち」。作り手のこだわりが詰まったおいしい朝ごはん、心地よい朝の時間を楽しめます。北彩都ガーデンの自然の中で、あさひかわの「おいしい朝」を体験してみませんか

と き 6/20(土)・21日 7:00~12:00
ところ あさひかわ北彩都ガーデン (宮前2の1) ※1



旭川家具 with ADW2026

旭川家具のものづくりに触れるイベント。展示やトーク、ワークショップなどを通して、技術やデザイン、背景にある思想やストーリーを紹介します。つくり手の視点や家具の現場に触れながら、旭川家具の魅力を感じることができます

と き 6/18(木)~21日
ところ 旭川デザインセンター (永山2の10) ほか
主 催 旭川家具工業協同組合



goen

今年のgoenは、より地域に開かれた交流の場へ。デザインとクリエイティブを中心に、誰もが垣根なく交流できる場として、分野や世代を超えた出会いの中から、新たな「ご縁」が生まれることを願っています

と き 6/19(金)17:00~19:00
ところ 旭川駅南広場



THE TALK

多様なゲストを迎え、あさひかわの魅力や未来を語り合うトークイベント。多彩なテーマの対話に触れながら、心が動いた言葉を自分へのメッセージとして持ち帰る時間を提供します。そこから生まれる小さな気付きが、日常の視点や行動へとつながっていく場です

と き 6/18(木)~21日
ところ アッシュアトリウム(1の7)



まちなかキャンパス 2026

平和通買物公園を丸ごと会場にした高校生・大学生を中心とした学び合いのイベントです。まちづくり、デザイン、創造都市をテーマに、来場する子供や社会人と一緒にSDGsやデザイン、ものづくりなどを学び合います

と き 6/20(土)10:00~16:00・21日 9:00~16:00
ところ 平和通買物公園
主 催 まちなかキャンパス実行委員会



この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています



※1: 当日は、ガーデンセンター駐車場をご利用できません。公共交通機関をご利用ください。荒天の際は中止となる場合があります。